



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社ヤシマキザイ 上場取引所 東  
コード番号 7677 URL <https://www.yashima-co.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 一昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 昌宏 (TEL) 03-4218-0096  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,403	9.6	△64	—	△21	—	△85	—
2023年3月期第1四半期	5,839	△17.5	△81	—	△24	—	△60	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 46百万円(138.9%) 2023年3月期第1四半期 19百万円(△81.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△30.02	—
2023年3月期第1四半期	△21.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,207	9,140	45.2
2023年3月期	21,821	9,165	42.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 9,140百万円 2023年3月期 9,165百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,649	43.6	586	798.8	705	200.2	462	—	161.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	2,880,000株	2023年3月期	2,880,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	20,942株	2023年3月期	20,942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	2,859,058株	2023年3月期1Q	2,847,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復の動きが見られましたが、物価上昇や世界的な金融引き締め等による下振れリスクを注視する必要があると、依然として先行きは不透明な状況にあります。

また、当社グループの主要顧客である鉄道事業者において、需要回復を背景に業績は増収増益を示し、回復基調で推移しました。

そのような状況のもと当社グループは、2023年度を最終年度とする「中期経営計画」を掲げており、(1)ポストコロナに向け、安定成長軌道への回帰、(2)事業環境の変化を見据え、新たな企業価値・存在価値の創出、(3)2024年3月期ROE 5%、の3つの基本目標の達成に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、鉄道事業者の業績回復や一部手配製品等の供給不足の緩和傾向を受けて、売上高は6,403百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業損失は64百万円（前年同四半期は81百万円の損失）、経常損失は21百万円（前年同四半期は24百万円の損失）となった一方、中国の連結子会社の取引における貸倒引当金を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は85百万円（前年同四半期は60百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (鉄道事業)

鉄道車両製品を主な商材として、鉄道事業者及び鉄道関連メーカー等を対象に、鉄道車両用電気用品、同車体用品等を主に取り扱っております。主要顧客である鉄道事業者の業績が増収増益となったことに加え、手配製品の納期長期化や、納入予定時期の延期等により先送りとなっていた鉄道関連メーカー向けの案件が計上に至ったため、売上高は回復基調で推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,682百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業損失は32百万円（前年同四半期は45百万円の損失）となりました。

#### (一般事業)

当社グループにおいては鉄道事業以外を一般事業としており、取引を行っている業界は、産業機器メーカーや電力用機器メーカー、自動車業界メーカー等と多岐にわたっており、主な商材はコネクタや電子部品であります。半導体不足による電力・強電分野や自動車業界メーカー等の減産や生産調整の影響から、コネクタや電子部品の需要が減少したため、売上高は低調に推移しました。

その結果、売上高は720百万円（前年同四半期比7.0%減）、営業損失は32百万円（前年同四半期は36百万円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は20,207百万円で、前連結会計年度末に比べ1,614百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金（6,479百万円から7,355百万円へ875百万円増）、未収入金（432百万円から522百万円へ89百万円増）が増加した一方、営業未収入金（1,470百万円から66百万円へ1,403百万円減）、受取手形及び売掛金（5,030百万円から4,132百万円へ897百万円減）、電子記録債権（2,007百万円から1,756百万円へ250百万円減）が減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は11,066百万円で、前連結会計年度末に比べ1,590百万円減少しております。主な要因は、電子記録債務（801百万円から873百万円へ72百万円増）が増加した一方、営業未払金（1,688百万円から442百万円へ1,246百万円減）、支払手形及び買掛金（8,586百万円から8,168百万円へ418百万円減）、賞与引当金（230百万円から119百万円へ111百万円減）が減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は9,140百万円で、前連結会計年度末に比べ24百万円減少しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金（384百万円から496百万円へ112百万円増）が増加した一方、利益剰余金（7,701百万円から7,544百万円へ157百万円減）が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました数値と変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,479,943	7,355,234
受取手形及び売掛金	5,030,189	4,132,359
営業未収入金	1,470,149	66,295
電子記録債権	2,007,359	1,756,620
有価証券	1,500,000	1,500,000
商品	1,990,500	1,865,270
未収入金	432,760	522,422
その他	233,629	325,491
貸倒引当金	△430,436	△514,265
流動資産合計	18,714,096	17,009,429
固定資産		
有形固定資産	48,237	49,818
無形固定資産	96,903	77,836
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,025	1,879,657
繰延税金資産	154,182	97,824
その他	1,118,571	1,110,008
貸倒引当金	△16,435	△17,519
投資その他の資産合計	2,962,343	3,069,971
固定資産合計	3,107,484	3,197,626
資産合計	21,821,581	20,207,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,586,026	8,168,004
営業未払金	1,688,379	442,279
電子記録債務	801,085	873,910
未払法人税等	5,240	45
契約負債	80,611	108,133
賞与引当金	230,826	119,450
その他	217,892	295,764
流動負債合計	11,610,062	10,007,588
固定負債		
繰延税金負債	123,135	116,041
退職給付に係る負債	716,852	737,896
役員退職慰労引当金	147,726	145,726
資産除去債務	40,277	40,350
その他	18,432	18,871
固定負債合計	1,046,423	1,058,886
負債合計	12,656,485	11,066,475
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	99,900	99,900
資本剰余金	735,783	735,783
利益剰余金	7,701,323	7,544,031
自己株式	△4,405	△4,405
株主資本合計	8,532,602	8,375,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	384,771	496,809
為替換算調整勘定	247,721	268,461
その他の包括利益累計額合計	632,493	765,271
純資産合計	9,165,095	9,140,581
負債純資産合計	21,821,581	20,207,056

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	5,839,899	6,403,315
売上原価	5,015,577	5,533,806
売上総利益	824,321	869,509
販売費及び一般管理費	906,218	933,713
営業損失(△)	△81,896	△64,204
営業外収益		
受取利息	2,768	1,104
受取配当金	18,217	19,042
持分法による投資利益	1,808	187
賃貸料収入	15,343	14,764
受取出向料	19,472	16,011
補助金収入	4,669	—
その他	6,620	894
営業外収益合計	68,900	52,005
営業外費用		
支払利息	12	8
賃貸原価	4,807	3,420
為替差損	6,018	3,301
保険解約損	—	2,341
その他	499	—
営業外費用合計	11,338	9,072
経常損失(△)	△24,334	△21,271
特別損失		
貸倒引当金繰入額	23,771	73,555
特別損失合計	23,771	73,555
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,105	△94,826
法人税、住民税及び事業税	1,808	972
法人税等調整額	10,212	△9,983
法人税等合計	12,021	△9,011
四半期純損失(△)	△60,126	△85,815
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,126	△85,815

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△60,126	△85,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,905	112,037
為替換算調整勘定	92,686	20,739
その他の包括利益合計	79,780	132,777
四半期包括利益	19,654	46,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,654	46,961



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

(貸倒引当金繰入額)

中国の連結子会社である亜西瑪（上海）貿易有限公司における前連結会計年度の不正調査の過程において、仕入先と得意先が実質的に一体である取引が判明し、取引の実在性に疑義のある取引を識別しました。しかし、得意先の協力が十分得られず、取引の実在性を十分に確認することができませんでした。そのため、当社は当該取引を不適切な取引であると認識し、売上取引を取り消すとともに、正味支出金額（当該商流における亜西瑪（上海）貿易有限公司の当第1四半期会計期間である2023年1月から2023年3月までの支払額から入金額を控除した金額）について回収可能性が確実と認められる以外の金額について、貸倒引当金73,555千円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,064,718	775,181	5,839,899	—	5,839,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,064,718	775,181	5,839,899	—	5,839,899
セグメント損失(△)	△45,112	△36,784	△81,896	—	△81,896

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	鉄道事業	一般事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,682,372	720,942	6,403,315	—	6,403,315
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,682,372	720,942	6,403,315	—	6,403,315
セグメント損失(△)	△32,021	△32,183	△64,204	—	△64,204

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(重要な後発事象)

(四半期連結損益計算書関係)に記載の中国の連結子会社である亜西瑪(上海)貿易有限公司における不適切な取引に関連して、亜西瑪(上海)貿易有限公司の当第1四半期決算期末より後から取引停止を行った2023年6月までに正味支出(当該商流における2023年4月から2023年6月までの支払額から2023年4月から第2四半期報告書提出日までの入金額を控除した金額)2,569千元(51,447千円)を支出しております。当該正味支出金額について、回収可能性が確実と認められる以外の金額について、貸倒引当金の計上を見込んでおります。なお、換算レートは、当社内にて使用している2023年7月31日時点の換算レートを適用しております(1元=20.02円)。